

## 令和元年度第2回玉城町地方創生会議、総合計画審議会 議事録

日時：令和2年2月3日（月）14:00～16:00

場所：町役場3階第1委員会

### 【次第】

1. 挨拶
2. 議題

- (1) 住民意識調査・団体アンケート結果について（資料1, 2）
- (2) 第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案について（資料3, 4）
- (3) その他

### 【資料】

#### [当日配布]

資料2 差替え：第6次玉城町総合計画策定に向けた玉城町のまちづくりを考える団体アンケート結果報告書（速報）

資料3 差替え：第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案

資料番号なし：玉城町総合計画審議会及び地方創生会議委員名簿

#### [事前資料]

資料1：第6次玉城町総合計画策定に向けた住民意識調査結果報告書

資料2：第6次玉城町総合計画策定に向けた玉城町のまちづくりを考える団体アンケート結果報告書（速報）

資料3：第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案

資料4：国の第2期総合戦略に関する資料

参考資料：玉城町を取り巻く社会経済動向の整理

参考資料：玉城町の現況

### 【議事録】

事務局：[進行]

事務局：[委員交代のご紹介（木下委員就任）、委嘱状交付]

町長：[あいさつ]

ご出席いただき、ありがとうございます。アンケート調査結果がまとまりました。各課ヒアリングが終了し、内部で検討した総合戦略の骨子案を作成したので、議論をいただきたい。新型コロナウイルスの拡大を心配しています。県内で木曜日に発生しています。金曜日に対策本部を立ち上げて、協議、対応しています。どこまで拡大がするか心配だが、拡大しないようにできることをしたいと思います。地方創生で採択された玄甲舎の現状を確認していただきたい。建物を修復して、庭園工事をしています。また、公設民営で集客施設とし

て七十二侯がオープンしました。ぜひ近くの人に利用して欲しいと思っています。

玉城町を元気な場所 G PLACE として推進したいと考え、バッジを作成し、配布しました。利用していただきたい。総合計画策定では住民意識調査がまとまりました。新計画へと反映させなければいけないと考えています。国の第2期まち・ひと・しごと総合戦略が策定されました。これを受けて町の総合戦略を3月までにまとめていきたいと考えています。

事務局：[資料確認] 事前送付と当日配布として差替えを準備している。

#### (1) 住民意識調査・団体アンケート結果について（資料1, 2）

事務局：[資料1, 2（差替え）説明]

事務局：WG、推進本部会議からの意見をご紹介したい。P14 職員からは一生懸命やっている施策が認められていないという意見がありました。上水道は当たり前と思っていたので、満足度が高くびっくりしたという感想でした。P34「行政主体のまちづくり」について、自助を大事にしたいが、公助を期待する意見が多かったです。P19 重要度については職員がドキッとした意見でした。P5 出身者、転入者の意見が大事だと思って聞きましたが、設問自体が必要か、全て玉城町民の意見でよいという意見もありました。

委員：アンケート調査結果では、子育てに関しての内容がフォーカスをされています。妻の職場でも、「玉城町は子育て支援がよい」という声を聞きました。今後とも頑張っていたきたいと思えます。

委員：住民アンケート調査や団体調査は大事です。昨晚区長会が開催されているのですが、これらの調査結果の活用と区長会での意見がどのように取り扱われるのか関係性を教えていただきたい。住民アンケート調査結果を見るだけでなく、調査結果を受けて、これからどうしていくのか、P19の重要度・満足度の結果を見ての議論が大事だと思います。

事務局：調査結果の取り扱いについて、後ほど総合戦略の骨子案の検討の中で説明をさせていただきます。

事務局：次回審議会には、総合計画策定に向けて、住民アンケート調査や各種調査を踏まえて主要課題などを出させていただく予定です。

委員：地方創生会議ではP19については議論しないのですか。

事務局：住民アンケート調査結果をすべて総合戦略で取り扱うものではありません。来年度策定する総合計画において活用する部分が多いです。総合戦略は今年度中に策定予定であり、本日骨子案について議論をいただきたい。

委員：P19、A：重点改善項目、B：重点維持項目は重要項目です。しかし、C・推移注目項目にも協働、文化など大事なことが入っています。住民アンケート調査結果の重要度は、あくまでも住民の希望であり、住民が重要度は低いと回答しても、町として取り組むべきものもあると思います。総合戦略の中で大事にしていくものも含まれていると感じました。例えば、文化・芸術関係は、住民の重要度の認識が高くない項目ではありますが、定住・移住のことを考えると、文化的なものがあるまちというイメージも必要だと感じています。

委員：住民アンケート調査では、地域、年代がバランスよく回収できているので良かったと思います。しかし、住民アンケート調査は、住民の意向の傾向を見るものであって、町が実態と違うと

感じるのであれば、実態をきちんと掘り下げてみれば見えてくるものがあるのではないのでしょうか。生活、子育ての満足度は高く、就労については期待が高くなっています。住民参加についてはもう少し参加したいという意見がありました。説明にもあったように、重要度については、低いとは言っても 50%以上の回答があります。他の市町と比べると、玉城町の独自のカラーがあり、住民意識は高いと感じています。

## (2) 第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案

事務局：玉城町まち・ひと・しごと総合戦略について検討いただくが、その中でも人口については第1期の人口ビジョンを継続していきたいと考えています。他市町では人口の減少傾向が激しく、大きく見直しをしなければいけない状況になっているところもありますが、玉城町の場合、推計人口に近い形で推移しているため、第1期と同じ目標値とさせていただきたいと考えています。

町長：人口減少の姿を説明すると、15,700人がピークでした。現在はピークから300人減少しています。年間60人程度減少している状況で、人口ビジョン策定時の推計人口に近い形で推移しています。

事務局 [資料3 (差替え) 説明]

事務局：資料4のように国の第2期総合戦略が策定されており、玉城町の新しい総合計画も国の方針に合わせる形で策定したいと考えて、本日の骨子案を提案させていただいています。

総合戦略は人口、起業、地域のつながり、子育てに特化した計画であり、住民アンケート調査で聞いたすべての施策は総合計画に盛り込んでいきたいと考えています。

委員：住民アンケート調査結果をもって総合戦略が立案されているわけではないのですか。

住民アンケート調査の中でも人口について聞いている、関係している部分のみが入ってくるということですか。

事務局：先ほど申し上げたように、総合戦略は人口、起業、地域のつながり、子育てに特化した計画であるため、関係するところが限られてきます。住民アンケート調査の関係する部分のみを活用します。また、国の第2期総合戦略では、第1期に掲げた移住は難しいということがわかり、関係人口を増やせという施策が出てきているので、基本目標2に取り込んで、Iターン、Uターンを視野に入れた内容になっています。

委員：国の方針に基づいて4つの柱が掲げられているということだが、全部連動していると思います。

資料1 P19の重要度・満足度のABCDと分けしてもらっているが、特にAの部分は住民の意識として満足はしてもらっていない部分になっています。精査して、取り組むべきは取り組んでほしいと思います。例えば、防災・防犯対策は基本目標にも入っています。交通問題、道路の問題はどの分野でも必須の課題となっています。玉城で暮らすには足の確保をしなければいけません。基本目標4に入れるべきだと思います。基本目標1(1)生産性の向上と地域ブランド力の強化②新規就農支援の「具体的な取組」は国、県、JAの事業であり、町としての施策がありません。近隣の他市町でも、自治体による新規就農支援事業があります。町独自支援はないのでしょうか。

事務局：ご指摘のように、庁内での議論の時に、町独自事業がないけれど、それはよいのかという議論

をしましたが、骨子案のような形になっています。担当課と改めて相談して、町として具体的な事業を入れていかなければいけないと思います。

委員：農業に関しては内容が薄いと思います。近隣市町で実施されている事業があるので、参考にさせていただきたい。

町長：本町では、いちご関係の取組があり、第2弾の事業申請も提出している状況なので、それを表現した方がよい。

事務局：「地域産品の生産性の向上と販路拡大【継続】」を掲げています。農業収益を上げようとする、収量の拡大か、単価を上げるかのどちらだろうかと考えました。町内の作物で、それだけで収益を上げられるものはいちごかネギです。国の交付申請を行っている最中であるが、リスクを町が担って、高収益作物の普及、6次化を進めていけないかと取り組んでいるところで

委員：総合戦略は、第2期の国のフレームで市町村の総合戦略を作らなければいけないのですか。

事務局：そうです。その方向性は合わせなければいけません。

委員：それでは何のために第1期の総合戦略、地方創生を進めてきたいのかと思います。これまでの国政と同様に、地域の計画や方向性を補助事業で縛るようなものだと感じます。玉城町の総合戦略が、国と同じスタイルをとることは仕方がないとは思いますが、戦略として、町は何をしたいのか、どこに力を入れていくのかをきちんと織り込まなければいけないと思います。何が課題か、それで誰が困っているのか、どこまで引き上げていくのか、どうやってやるのかを考えなければいけません。きちんと掘り下げて考えることが重要です。核になる施策を作らなければいけないと思います。

委員：住民アンケート調査結果に一喜一憂されたということですが、資料1 P16の満足度の推移をみると前回調査よりも下がっている項目が多くあります。重要度は大きな変化がない中で、満足度は下がっているということは、住民の意識が水ものだと思います。今回の調査で急激に満足度が上がっているものほど手を抜かずにやってもらえることが必要だと思います。長所を伸ばしていくこと、強みを強みとして生かし続けることも重要だと思います。

事務局：子どもに関係する事業、目標数値の待機児童0等は当たり前と思わずに継続してやっていきたいと担当課も言っていました。いろいろな取組をする上で、母子と職員が出会うタイミングが7か月児相談になります。ここで職員がどれだけ関われるかで、住民の満足度は変わると認識しています。他の事業への影響も大きいと感じています。継続ではありますが、しっかりと取り組んでいく項目です。

委員：基本目標の1～4は相互に関連していると思います。その中でも基本目標2が大きいと思います。他の基本目標を関連させながら、目標達成を目指していく中で、各施策・事業を住民に対してどのように伝えていくかが難しく、大事です。情報発信を継続的に実行していくことが大事です。計画の推進以外に、情報発信のことを考えていただきたい。

住民目線で考えると他の地域のこととはわからないので、施策や事業について比較ができません。玉城は子育て支援が良いのだという気づきのタイミングがあるとよいと思います。

事務局：若い人たちが社会に目を向けるきっかけは子どもが生まれた時だと、現場の保健師からも言われています。子どもの7か月健診、1歳6か月健診を手厚くすることで「玉城は子育て支援

が良い」という認識をもってもらえると考えています。それがひいては、Uターン、Iターンにもつながると考えています。

委員：P3（2）多様な就業機会の拡充 ②多様な働き場の確保に「町の行う支援を利用した新規就労者」とありますが、どういう意味ですか。

事務局：一昨年から生涯現役促進協議会を設置し、55歳以上の方に活躍してもらおうということを検討しています。働く意欲や希望はあっても、希望する職種がないなど、マッチングがうまくいっていないという意見がありました。その中で、若いお母さんや障がいを持った方も取り込めないかという議論をしていることが背景にあります。具体的には、フルタイムでは働けないけれど、仕事を切り分けられれば働けるのではないかという意見がありました。これは実際に鳥羽市の事例があり、仕事のパート分けをして一つの仕事を時間を分けて、複数で行うという取組があります。本町でも企業や農業で、そういったことができないかと考えています。

委員：資料1住民アンケート調査結果P9住みにくい理由で「交通の利便性が悪い」が7割超を占めています。確かに子どもやお年寄りといった車を運転しない人には利便性が悪いと感じられるかもしれませんが、しかし、この問題を玉城町だけで解決するには限界があると思います。具体的には次の総合計画になるのかもしれませんが、どうしたらよいのか考える必要があります。

事務局：既存交通と共存しながら、足りない部分をカバーすることを考える必要があると思っています。

委員：新しい交通網を創出・検討していくことが大事です。玉城町には元気バスというオンデマンド交通もありますが、まだ課題もある状況です。新しい仕組みを研究することも大事で、どうすることもできないわけではありません。最近、ライドシェアが研究されており、紀北町では名古屋大が実証実験を行っています。近隣市町と一緒に取り組むことも大事です。今から新たに創出することも考えてもよいと思います。

委員：玉城町には既に三重交通、JR、元気バスもあり、近鉄もあります。アドバンテージがあります。人の流れを継続して、公共交通を使ってもらい、民間事業者を巻き込んで、民間事業者にもプラスになることを提案できるとよいと思います。新たな交通システムはこれからスピード感が出て開発されると思います。住民目線で、暮らしやすくするための取組を進めていく必要があります。

委員：地域ケア推進会議でアドバイザーとして参加しています。そこでは、既に元気バスの活用とさらに次の手段を考えている団体もあります。そういったことを考え続けていく組織、場が必要です。玉城町にはアドバンテージがあるので、これがあるうちに次を考えていくことが大事です。総合計画で提案をしたいと考えています。

事務局：交通については、再度検討をさせていただきたい。今あるものをどのようにしていくかを考えさせていただきたい。

町長：本日いただいた意見を骨子案の中に入れて、再度委員に提示をさせていただくことでよろしいか。

委員（全員）：[了承]

事務局：[今後のスケジュール説明]

町 長：事務局からの提案のように、策定作業を進めさせていただいてよろしいか。

委員（全員）：[了承]

町 長：貴重な意見をいただき、ありがとうございました。早いスピードで人口減少が進んでいます。10年後に地域の小学校が残るまちづくりが重要だと考えています。いろんなことが変化してきている、このタイミングで総合戦略、総合計画策定があり、町として一番重要なところに来ていると感じています。行政担当が冷静に判断をさせていただき、計画策定をする必要があると考えています。

委員：自治会活動についてのアンケート調査がありました。自治活動があつて、地域は成り立っていると思いますが、地域によって事情は異なっています。このままでは、高齢化も進み、10年先、15年先は自治活動ができなくなってくると思います。自分達の暮らしは、自分たちでやっていこうという意識を持ってもらう必要がありますが、このままでは、自治会活動に入っても入らなくてもよいという意識が広まっていくと思います。

自治会活動に参加しない人には線引きが必要です。

町 長：その一方で、新しい住民を自治会に入れられないという自治区もあります。集落の決めごとを変えるのは難しい、強制できないのが現状です。子どものいのちや生活を守ること、防災は地域でやってもらわなければいけません。共助の取組が必要です。しかし、現実には地域のつながりは希薄になっており、再生することが課題です。町として力を入れなくてはいけないことだと思っています。庁内で検討会を立ち上げたいと考えています。子どもを中心に親同士が顔を合わせる機会もつくる必要があります。学校にも協力を求めて、地域に出向いて取り組んでいきたいと思っています。町の良さを持続していくことが必要です。町の活性化を進めるためには地域がまとまらなければできません。

### (3) その他

事務局：[ロゴ紹介]

町 長：ありがとうございました。